



## media information

### 日本航空、来年早々に oneworld アライアンスへ加盟

- ・ 本日、発展を続けるグループとして oneworld 加盟招請状に署名
- ・ 加盟準備、円滑に推進中
- ・ oneworld はリニューアルされる成田ターミナル2へ集約
- ・ 加盟予定の航空3社のCEOが、第1回アライアンス役員会に出席

**2006年6月4日 日曜 パリ:** 日本航空(JAL)は本日 oneworld™の正式な招請状を受領し、2007年初めにも世界をリードする高品質なグローバル・アライアンスである oneworld に加盟することとなりました。

日本航空はアジア太平洋地域において売上、旅客数共に最大航空会社であり、またグローバルアライアンスに加盟していない航空会社の中では最大規模の航空会社で、アメリカン航空、ブリティッシュ・エアウェイズとともに oneworld の3大航空会社となります。

日本航空と共に日本航空の5つのグループ会社である、JAL ウェイズ、日本アジア航空、JAL エクスプレス、ジェイ・エア、日本トランスオーシャン航空が同時に提携会社として oneworld に加盟します。

招請状の調印は、明日より開催される IATA ワールド・エア・トランスポートサミットに先がけてパリの oneworld 社長会でとりおこなわれました。oneworld パートナー8社の CEO - アメリカン航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、カンタス航空、キャセイパシフィック航空、イベリア航空、ラン航空、フィンランド航空、エアリングス- が初めて日本航空の代表者と、マレブ航空、ロイヤルヨルダン航空の代表とともに一堂に会しました。

本調印は今年2月に締結された手続きの第一歩である覚書に引き続いて日本航空が oneworld への参画意向を表明してからわずか6ヶ月後に行われました。

oneworld の全メンバーは、日本航空の oneworld 正式加盟を早急に実現するため協力を約束しました。

アメリカン航空は oneworld の主たるスポンサーとして、キャセイパシフィック航空の補佐を得ながら、日本航空の加盟にむけた一連の作業をサポートしています。

日本航空と日本航空グループ航空会社加盟により、oneworld 路線ネットワークに47路線が追加されます。更にマレブ航空とロイヤルヨルダニアン航空の加盟により25就航地点が追加され、この航空会社3社の加盟により oneworld アライアンスのネットワークは150カ国、700地点に増加します。

*more*



また、これら航空会社の加盟により、**oneworld** の旅客輸送能力を現在の 2 割増加し、業界のシェアは約 20% 拡大します。その結果 **oneworld** アライアンスは一日 9200 便（現在の 15% 増）を計 2500 機で年間 3 億 2 千万人の旅客運送に拡大し、**oneworld** アライアンスの年間売上総額は現在の 3 割増加し、860 億米ドルに増加することが見込まれます。

日本航空、マレブ航空、ロイヤルヨルダン航空の主要 IT システムと **oneworld** 参画航空会社の IT システムへ接続する作業は既に開始されており、各社の社内プロセスや手法は **oneworld** アライアンスの条件に沿った形に変更され始めています。

日本航空は既にインターラインチケット (IET) をアメリカン航空やブリティッシュ・エアウエイズと接続しており、お客様は従来の紙のチケットの代わりに電子チケットを使い乗り継ぐことができます。キャセイパシフィック航空とは 2,3 ヶ月中に、またマレブ航空、ロイヤルヨルダン航空を含む他のメンバーとは来年の加盟前に IET を接続する予定です。

マレブ航空は、参画メンバー 4 社とすでに IET の接続がされています (ブリティッシュ・エアウエイズとは 1 月より、アメリカン航空とは 2 月より、キャセイパシフィック航空及びラン航空とは 4 月より接続されている)。エアリンガス、イベリア航空、カンタス航空とは今月、そしてフィンランド航空とは来月に接続させる予定で、新規招聘された航空会社とのシステムカットオーバーは、2007 年の正式加盟前に完了する予定です。

ロイヤルヨルダン航空は現在新しいプラットフォームへの移行途中であり、IET の接続を延期しておりますが移行作業は進んでおり、来月より IET の接続作業を開始する予定です。来月にはスポンサーであるブリティッシュ・エアウエイズとの接続を予定し、その他のメンバーとの接続は正式参加する前に完了する予定としています。

**oneworld** は現在全参画会社間での IET が可能な唯一のアライアンスであり、お客様は電子チケットのみで路線ネットワークを乗り継ぐことができます。

日本航空とマレブ航空は、すでに **oneworld** アライアンスの世界一周運賃商品「グローバル・エクスプローラー」に参加しています。「グローバル・エクスプローラー」には **oneworld** アライアンスに加盟していない会社も含まれています。

**oneworld** の招聘により、ロイヤルヨルダンはお客様によりよい **oneworld** アライアンスのサービスと特典を提供するために、5 つの新 IT システムの契約、パリのオペレーションをオルリーから CDG に移し、パートナーの近くに拠点を構えました。

一方、マレブ航空は本日 **oneworld** の招聘に並んで、以前より結んでいたアメリカン航空、イベリア航空との協定に引き続きブリティッシュエアウエイズとの 2 社間協定を締結し、マドリードバラヤとニューヨーク JFK に拠点を移しました。

数ヶ月後には、新規加盟予定 3 社の世界中のスタッフに対しては、**oneworld** 加盟の第一日目から **oneworld** のサービスと特典をお客様に提供できるための従業員教育やコミュニケーションプログラムを開始します。

すべての加盟条件が **oneworld** アライアンスを代行するスポンサー社によって監査された後、それぞれの加盟日が確定します。

フリークエントフライヤープログラム会員には、**oneworld** メンバーや系列会社に搭乗する際に確実に特典を取得できるよう、**oneworld** ロゴ入りのカードが郵送されます。

今回の新規 3 社の加盟は **oneworld** にとって 5 年ぶり以上のことです。その間 **oneworld** アライアンスは **oneworld** 加盟メンバーが航空産業が直面する財政危機を乗り越える支援することに注力していました。

この努力が成功し、至近の決算では **oneworld** は航空アライアンスの中で唯一参加航空会社合計で総利益 18 億 US ドルの黒字を記録しました。これに対して Sky Team は、50 億 US ドルの損失を出し、Star Alliance は 200 億 US ドルの赤字となっています。

oneworld に代わって、アメリカン航空会長兼代表取締役ジェラルド・アーピー氏は次のように述べています。「日本航空ならびにマレブ航空、ロイヤルヨルダン航空の参画は、oneworld が 7 年前に始動して以来の目覚ましい発展のひとつです。我々は心から皆さんを歓迎いたします。oneworld とすべての加盟航空会社は、加盟の第一日目より oneworld のサービスと特典をお客様に提供するために参加の手続きが出来る限り円滑にまたスピーディに行われるよう出来る限りの事をする事を約束します。

日本航空次期代表取締役西松遥氏は、「日本航空と oneworld は加盟に必要な手続きに迅速に対応してきました。これは加盟に向けて前進するための素晴らしい共同作業の表れです。お客様、株主の皆さま、従業員のために一刻も早く正式加盟できるよう、このペースを維持し、協力を強化していく所存です。我々はよい仲間となると確信しています。oneworld は間違いなく最高の資質を持っているアライアンスです。」

本日の式典での調印メンバーは:

イベリア航空会長兼代表取締役 フェルナンド・コンテ (現 oneworld 理事会会長)

アメリカン航空会長兼代表取締役 ジェラルド・アーピー

ブリティッシュ・エアウェイズ代表取締役 ウィリー・ウォルシュ

カンタス航空代表取締役 ジェフ・ディクソン

キャセイパシフィック航空代表取締役 フィリップ・チェン

ラン航空代表取締役 エンリケ・クエト

フィンランド航空取締役 ユッカ・ヒエノネン

エアリングス代表取締役 ダーモット・マニオン

日本航空グループ代表取締役 ニシマツ・ハルカ

マレブ航空代表取締役 ヤノス・ゴンチ

ロイヤルヨルダン代表取締役兼副会長 サマー・マジヤリ